施工説明書

INAX

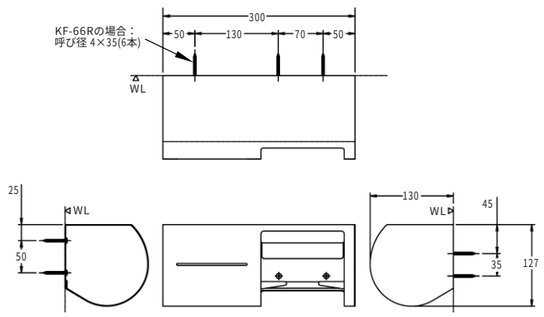
棚付ワンタッチ式紙巻器
(両減り防止タイプ)

KF-66R　KF-66L
KF-66R(AY)　KF-66L(AY)

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

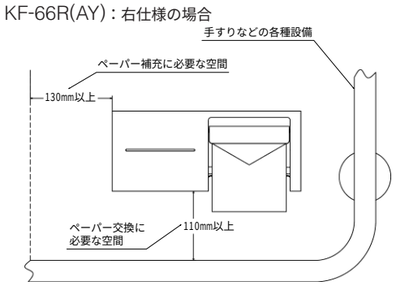
●商品図

KF-66R, KF-66R(AY)：右仕様



●施工前の注意点

KF-66R, KF-66R(AY)：右仕様の場合

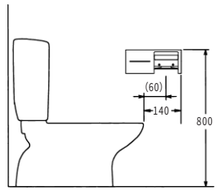


※本製品を、手すりなどの各種設備とあわせて使用される場合は、上記のような注意が必要です。
位置関係については、「住宅設備機器工事用図面集」をご確認ください。

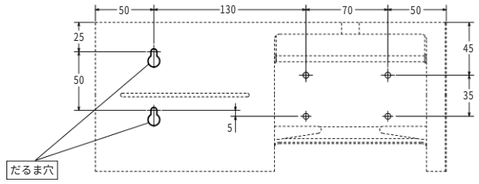
●取付位置

下図は取付参考位置です。現場の状況に応じて取付位置を決めてください。

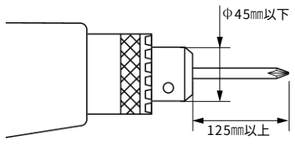
洋風便器の場合



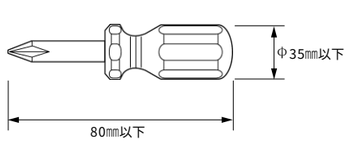
下穴のマーク位置　KF-66R、KF-66R(AY)：右仕様の場合



使用する工具について　※ドライバービットサイズは2番（⊕2、No.2、＃2などと表示されています。）を使用してください。適正ビットサイズでないとねじ頭が破損し、ユーザー使用時に手をケガをする恐れがあります。

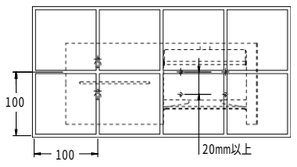


電動ドライバー



※ペーパーストック部の
本締めにて使用します。

タイル施工の場合の注意事項



100mm角タイルの場合の施工例

左図のようにタイルの目地にあわせて、AYボルト用下穴をあけるとタイル割れが防止出来ます。
製品施工位置の制約等により、AYボルト下穴位置が、目地にあわない場合は、タイル目地から下穴中心位置を20mm以上確保して下穴をあけてください。

●安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

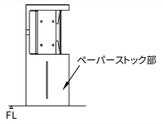
用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

❗……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注　意

施工時は、下穴を確実にあけて、ねじを止めてください。 ※施工手順を誤ると、ねじ頭が破損し、ユーザー使用時に手をケガをする恐れがあります。	❗
取付面が薄壁の場合は、事前に厚み30㎜以上の補強木を設けておいてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	❗
取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、AYボルトを使用してください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	❗
外れたり、がたが生じないように、強固に取り付けてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	❗
ドライバー等の施工用工具で製品にキズをつけないよう注意してください。 ※施工時に、製品を床に置く場合は、ペーパーストック部を下に置くと、キズがつきません。 	❗

株式会社 INAX

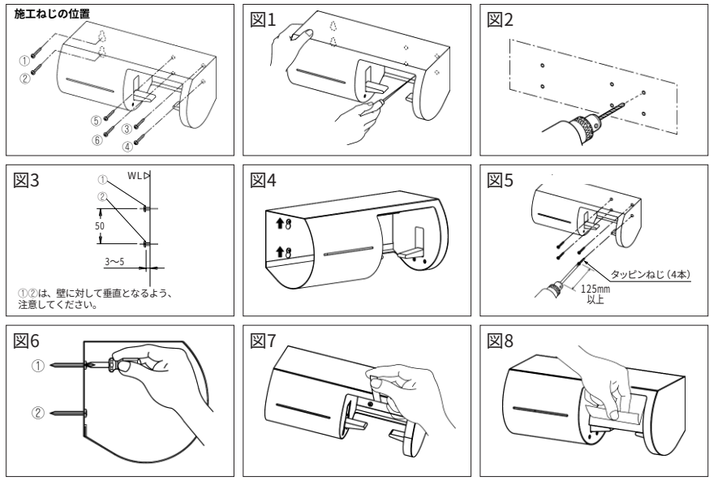
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター 商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日 10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

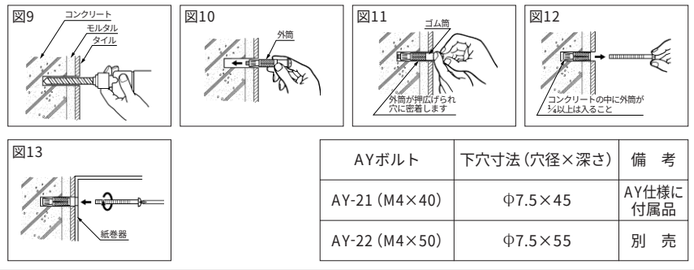
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などからはご利用できません。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

●施工方法

※取付壁は必ずフラット面を確保してください。（不陸がある場合は、ワッシャー等で調整してください。）

壁工法	取付部材	施工上の注意	施　工　要　領
乾式壁	タッピンねじ 同梱部材 必ず同梱のものを使用してください。	・取付面が薄壁の場合は、事前に厚み30㎜以上の補強木を設けておいてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	1. 施工壁に紙巻器をあてがい、棚（紙巻器上面）が水平になるよう注意して、設置位置を決めてください。 2. 施工壁に紙巻器をあてがったまま、タッピンねじ穴の位置をマークします。(図1) 3. 施工壁に6ヶ所の下穴をあけます。下穴径Φ3.5mm、深さ35mm～40mmです。(図2) ※タッピンねじ①、②（図3参照）は、最後に手締めを行いますので、確実に下穴をあけてください。 4. 製品背面のだるま穴にタッピンねじ①・②の2本を仮止めするため、壁から3～5mm程度、ネジ頭を浮かせて施工します。(図3) 5. 製品背面のだるま穴にタッピンねじ①・②を引っ掛けます。(図4) 6. 製品の水平度を確認しながら、タッピンねじ③～⑥の4本を固定します。(図5) 7. 仮止めしていたタッピンねじ①・②を指定サイズのドライバーにて本締めします。(図6) 8. 棚と紙切板を固定しているテープをはがしてください。(図7) 9. 紙切板の保護シートをはがしてください。(図8) 

※ボード張りの厚みが12.5㎜を超える場合は、超えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

壁工法	取付部材	施工上の注意	施　工　要　領（※詳細は、工事用図面集をご覧ください。）
湿式壁	AYボルト 同梱部材 必ず同梱のものを使用してください。	・壁仕上材（モルタル、モルタル＋タイル）の厚みは20㎜以下としてください。 ・20㎜を越える場合は、越えた分だけ長いAYボルトを別途用意してください。 ・当社のAYボルトを使用できる壁仕上材の厚さは次の通りです。 壁仕上材の厚さ / 当社AYボルト / 備考 20㎜以下 / AY-21 / 付属品 20㎜～30㎜ / AY-22 / 別売 30㎜以上 / なし / 別途用意	1. 施工壁に紙巻器をあてがい、棚（紙巻器上面）が水平になるよう注意して、設置位置を決めてください。 2. 施工壁に紙巻器をあてがったまま、AYボルト用下穴の位置をマークします。(図1) 3. コンクリートドリルを使用して下穴をあけます。(図9) 3-1. 外筒をボルトに取り付けたまま、下穴に差し込みます。(図10) 3-2. ゴム筒の端を壁面から出ないように押さえて小ねじの頭部を強く引っ張ってからゴム筒、小ねじを外します。(図 11)(図 12) 4. 製品背面のだるま穴に小ねじ①・②の2本を仮止めするため、壁から3～5mm程度、ねじ頭を浮かせて施工します。(図3) 5. 製品背面のだるま穴に小ねじ①・②を引っ掛けます。(図4) 6. 製品の水平度を確認しながら、小ねじ③～⑥の4本を固定します。(図5)(図13) 7. 仮止めしていた小ねじ①・②をドライバーにて本締めします。(図6) 8. 棚と紙切板を固定しているテープをはがしてください。(図7) 9. 紙切板の保護シートをはがしてください。(図8)  AYボルト / 下穴寸法（穴径×深さ） / 備　考 AY-21（M4×40） / Φ7.5×45 / AY仕様に付属品 AY-22（M4×50） / Φ7.5×55 / 別　売

※ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
※木ずり下地、ラスボード下地への取り付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に厚さ15㎜以上の取付木を入れ、必要な板厚を確保してください。

取扱説明書

INAX

棚付ワンタッチ式紙巻器
（両減り防止タイプ）

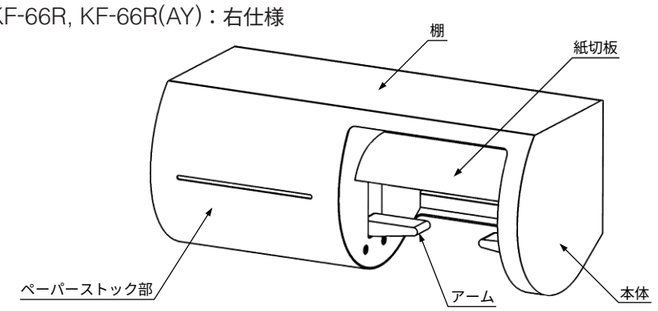
KF-66R　　KF-66L
KF-66R(AY)　KF-66L(AY)

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

●各部の名称

KF-66R, KF-66R(AY)：右仕様



●安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

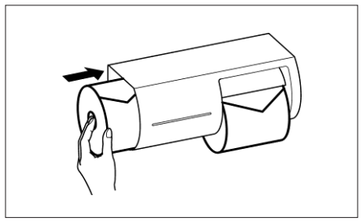
⃠……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

⚠注　意	
修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	⃠
棚の上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。 ※商品が外れたり、割れたりしてケガをする恐れがあります。	⃠
5kg以上の物を置いたり、乗ったり、ひじや手をつくなど体重をかけないでください。 ※破損してケガをする恐れがあります。	⃠
温風機、ドライヤー等で熱を直接あてないでください。 ※変形し割れたり折れやすくなり、ケガをする恐れがあります。	⃠
清掃時、シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。 ※変質・変形し割れたり折れやすくなり、ケガをする恐れがあります。	⃠
固いものをぶつけないでください。 ※割れて破片によりケガをする恐れがあります。	⃠

●ペーパーの補充方法

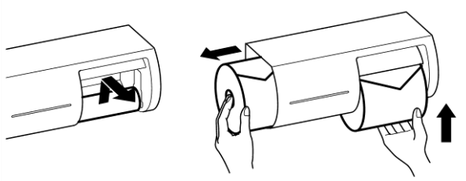
ペーパーストック部にトイレットペーパーを挿入してください。



●トイレットペーパーの交換方法

トイレットペーパーを上へ持ち上げてセットします。
※ペーパーを間違えてセットした場合は、無理に取り外そうとせず、ペーパーを紙切板に押し当てながら、ゆっくりと手前に引き出してください。無理に外すと製品が破損する恐れがあります。

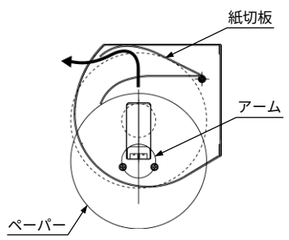
①ペーパーをセットするとき



①ペーパー芯を抜き取ります。　②予備のペーパーを取り出します。　③下から装着します。

※イラストは右仕様です。

②ペーパーを取り外すとき



外れにくい時は、ペーパーをひねりながら、手前にひっぱり出します。

●トイレットペーパー使用上のお願い

市販のロールペーパーの中には切れにくいものもありますのでご了承ください。
ロールペーパーはお住まいの地域によって多種多様にありますので、いくつかの種類をお試しの上、切れやすいものを選択してお使いください。

●使用可能なロールペーパーのサイズ
　巾：106～118㎜
　直径：120㎜以下
　芯の内径：30㎜以上

※芯なしペーパーは、ご使用になれません。

●お手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

●汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
　汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと水ぶきをした後、乾いた布で水分をふきとってください。
●商品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
　●クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
　●酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
　●ナイロンたわし、ブラシ等
　●シンナー、ベンジン等の溶剤
　特に、壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、すぐに十分な水ぶきをするのを忘れないでください。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

（株）INAX「お客さま相談センター」
TEL 0120-1794-00　FAX 0120-1794-30
受付時間　平日　9:00~19:00
土日・祝日　10:00~18:00
（夏期、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は

お求めの取扱店または（株）INAXメンテナンス　（ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp）
TEL 0120-1794-11　FAX 0120-1794-56　受付時間 9:00~22:00　365日受付＆修理